

評価シート

評価領域	生徒指導部
------	-------

目標の設定 (Plan)

重点目標	交通事故の防止と交通道德の育成
------	-----------------

現 状	昨年度は自転車運転中の事故が6件発生した。右側通行や坂道でのスピードの出し過ぎや不注意が原因であった。また、学校前の道路を歩いて渡る際に飛び出す生徒もおり、危険であると保護者や近隣から指摘を受けた。
-----	---

具体的な目標	事故を無くし、交通ルールを守れる生徒を育成する。
--------	--------------------------

目標達成のための方策	街頭指導、警察官による交通安全教室により安全な通行を呼びかける。職員週番による朝の駐車場指導を行う。文書等で生徒、保護者に呼びかける。
------------	---

実践 (Do)

具体的な取組状況	街頭指導を5回、計27日間実施した。自転車事故に特化した交通安全教室を2回実施した。朝の混雑時に、職員週番が駐車場に立ち、注意喚起に努めた。
----------	--

達成状況	自転車での事故は2件にとどまった。駐車場周辺の渋滞はほとんど見られない。
------	--------------------------------------

自己評価 (Check)

- 評価基準
- A：具体的な活動が示され目標を達成できた。
 - B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない。
 - C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない。

自己評価	評価	根 拠
	B	自転車運転中の事故は2件で、生徒に大きな過失はなかった。ただ、このことが必ずしも生徒のマナーが良くなったことを示すものではないと思う。学校前の道路への飛び出しや駐車場内での通行状態について指摘を受けた。また、保護者の車のマナーについても指摘を受けている。

学校関係者評価と意見	評価	意 見
	B○	早朝の街頭指導、交通安全指導、いじめやネット、スマホ、薬物等の各講座、教育相談体制の充実に感謝している。事故防止の面では一定の成果があったが、裏表のない心の育成による横手高校生としてのプライドが挨拶や交通マナーなどの行動に現れることを強く望む。

改善した実践 (Action)

自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	高生協主催の標語コンクールへの参加を促したり、HR 活動で公衆マナーや交通事故防止について話し合わせたりすることで、それらに対する意識を高める機会とする。また、朝の駐車場指導を年間を通して継続する。
-----------------------	---